

たのしい サイエンス通信

2022年度

1

水辺の住人4「メダカ」



仁徳天皇陵に至る芦ヶ池水路の水辺に位置する堺高校・・・いよいよ春本番となり、すべてが生き生きと輝く4月・・・新生を迎えて、令和4年度のスタートです。そんな本校の日常から、今回は「メダカ」の話を紹介します。

「(堺高生N)「来年度の研究ですが・・・僕、本当に好きで家で飼育してるだけで、そんなメダカの飼育方法や研究なんてうまくやれるか？ちょっと自信がない。」

「(教員 弥)いいんやで。うん。本当に・・・普段、やっていること、好きな生物の観察とかも継続すれば立派な研究です。」

「(堺高生N)「はい。とりあえず頑張ってみます。」

かつて、日本各地の小川では、ごく普通にメダカの群れが見られました。しかし、治水のための護岸工事が増え、流れの緩やかな小川は減っていきました。その上、農薬の使用、生活排水の流入などの水質環境の悪化により、メダカの個体数は激減しています。カダヤシなど外来種におされ、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧種です。そもそもメダカはミジンコなどの動物プランクトンや藻を食べる、昔から日本人に親しまれ、愛らしい姿が童謡にも唄われる淡水魚です。

しかも、意外にメダカは小型高性能・・・名前の由来でもある大きな目でまわりの景色を見て、そして水の流れを体表の「側線」という感覚器官で感じ取って、流れに流されることなく泳げるしっかり者です。そんなメダカが群れで和やかに泳ぐ水辺の風景をこれからも大切にしていきたいと願っています。

「誰が生徒か 先生か」・・・堺高校サイエンス創造科は、生徒と教師の距離が近く、日々の授業や課題研究などに共に楽しく取り組む学びの場です。「めだかの学校」のように、しっかりと流されずに、高校3年間で泳ぎ切りたいですね。 (弥)

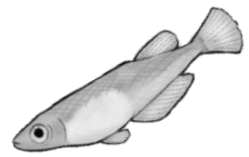
「めだかの学校」

茶木滋作詞・中田喜直作曲

めだかの学校は 川のなか
そっとのぞいて みてごらん
そっとのぞいて みてごらん
みんなで おゆうぎ しているよ

☀️だれが生徒か 先生か

だれが生徒か 先生か
みんなで げんきに あそんでる



めだかの学校は うれしそう
水にながれて つーいつい
水にながれて つーいつい
みんなが そろって つーいつい

水辺の博物館



和名: メダカ
学名: *Oryzias latipes*
分類: ダツ目 メダカ科

